

お互いを 大切にしましょう！

「DV(ドメスティック・バイオレンス)」とは、パートナーなどの親しい間柄で起こる暴力のことです。「なぐる」「ける」といった「身体的暴力」はもちろんのこと、言葉による暴力や束縛をする行為など、相手を一方的に支配しようとするものです。性別に関わらず、誰もが被害者になる可能性があります。

特に10～20代で、交際相手との間でみられるDVを「デートDV」といいます。





✓ あなたに当てはまることはありませんか？

No.	項目	チェック欄
1	彼(彼女)は、あなたのことを「ブス」「バカ」など、自分がいやな言い方で呼びますか。	
2	彼(彼女)は、あなたが他の用事で会えなかったりすると、「自分を最優先にしない。」と言ったり、怒ったりしますか。	
3	彼(彼女)は、あなたが話したり、一緒に過ごしたりする相手が誰なのか、また異性なのかなど、知りたがりですか。	
4	彼(彼女)は、よく携帯電話に電話やメールをしてきて、あなたがどこで誰と話したり、会っているかチェックしますか。	
5	あなたは、彼(彼女)が怖いと思ったときがありますか。	
6	彼(彼女)は、とても優しいときと怖いときがあって、別人ではないかと思ったことがありますか？	
7	けんかしたとき、彼(彼女)は、けんかの原因はあなたのせいだと言って責めますか。	
8	彼(彼女)は、あなたの携帯電話をチェックして、異性の友人のメモリーを消せと言ったり、消してしまったりしますか。	
9	彼(彼女)は、あなたに「好きならいいだろう」と、あなたが気が進まないことを無理やりしたことがありますか。	
10	彼(彼女)のメールにすぐに返信しないと、どうして遅れたのか、その理由を言えと言われたことがありますか。	

暴力には、どんなものがあるのでしょうか？

- ① 「殴る」「蹴る」「たたく」といった**身体的暴力**
- ② 「ブス」「ばか」など傷つく言葉で呼ぶ、無視する、気にいらないとどなるなどの**精神的暴力**
- ③ 無断で携帯のアドレスを消去する、友達との付き合いをやめろというなどの**社会的暴力**
- ④ お金を出させる、借りたお金を返さないなどの**経済的暴力**
- ⑤ わいせつな動画や写真を無理やり撮らせる・見せるなどの**性的暴力**

私たちは性別に関係なく、互いに安心できる環境で、自分の意思を大切に生きていく権利があります。

一方的に自分の価値観を押しつけたら、思い通りにしようとしたりすることは「愛」ではなく「暴力」です。

どんな事情があったとしても暴力をふるっていいという理由になりません。暴力によらない解決方法があるはずですよ。

お互いの個性を認め合い、思いやり、お互いを大切にしていきたいでしょう。

ここに挙げたのは、デートDVの一例です。
 ✓が1つでもあれば、デートDVの可能性がります。
 何か不安に思うことがあったら、迷わずに専門の相談機関に相談しましょう。

兵庫県教育委員会事務局「デートDVに関する実践事例」より